

令和5年度 二十歳のつどい実行委員会だより No.2

令和6年1月7日（日）に京都府立けいはんなホールで木津川二十歳のつどいを開催しました。当日は雨に見舞われることもありましたが、計937名が華やかな門出を迎えられました。

式典の様子

一部



司会： 山田 千愛（左）
村上 智美（右）



誓いの言葉： 浅田 稜介

二部



司会： 重光 恭（左）
木村 心優（右）



誓いの言葉： 阿部 映音（左）
塚原 壮亮（右）

実行委員メンバー感想

二十歳のつどいという一生の思い出に残る晴れ舞台で誓いの言葉を努めさせて頂き、大変貴重な経験になりました。今後は大人としての自覚を持ちながら日々精進し続けたいと思います。本当にありがとうございました。

人生で一度の二十歳のつどい、無事に開催できた事、そしてそんな貴重な機会に司会を担当させていただけたことを誇りに思います。情勢がコロナ前に戻りつつある中で、恩師の方々にもご臨席いただけて今までの人生を振り返ることの出来る貴重な1日でした。ありがとうございました。



とても緊張して大変でしたが、貴重な体験ができて本当に良かったです！

年明けから全国各地で混乱が起こる中、このような式典を開いていただき誠にありがとうございます。人生で一度の20歳のつどい。人生の中でも大きな節目となる「20歳」の式典の運営に携わることができたことを光榮に思います。誓いの言葉でも述べた通り「常に大胆に、そして常に勇気を持って」今後も歩み続けて参ります。

二十歳のつどいという人生で一度きりのこの貴重な会の司会を務める機会をいただくことができ、大変光榮に思っております。実行委員として二十歳のつどいに向けて準備をしてきたからこそ、より思い出深いものとなりました。また、私たちを主体としながら、あらゆるサポートをしていただいた教育委員会の方々には、大変感謝しております。本当にありがとうございました。